

## 令和6年 新年の挨拶

総務局長 齋藤 洋

新年を洋上で迎えられました組合員の皆さま、明けましておめでとうございます。

私は第83回定期全国大会で再選を果たし、中央執行委員になって3年目となります。これまで同様初心を忘れず組合員の皆さま方の負託に応えるべく頑張っていく所存です。

さて、私たち船員を取り巻く世界情勢に目を向けますと、緊張感を増すさまざまな事態は収束が見えず、直接的ないし間接的に船員の労働環境や生活環境に影響を与え、引き続き予断を許さない状況が続いております。

為替の変動は組合財政に多大な影響を及ぼす要素のひとつですが、組合としては、こうした変化にも揺るがない盤石な財政基盤を維持し、昨年の全国大会で承認されました第79年度活動方針（予算）に基づいて、着実な活動を行ってまいります。

本組合の第79年度の年間予算は、限られた財源の中で管理部門の経費を節約しつつ、産別組織としての活動の推進に重点を置き、組合資産の維持管理に必要な改修、改築、買い替えなどの保全措置を計画的に実施します。

資産管理の面で特に規模の大きいものとして、2023年1月より、東京・六本木にあります本部会館の大規模改修工事がスタート致しました。本部会館は、近代建築の三大巨匠と呼ばれたル・コルビジエの孫弟子となる大高正人氏が設計した建物で、1964年に竣工し、以後約60年にわたり組合活動の本拠地として活用されてきました。2016年に文化庁主催の大高正人氏のシンポジウムが開催、2017年には日本の近代建築の再評価と保存活動に取り組むドコモモ・ジャパンが「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」の代表作として選定し、建築業界でも大きな注目を集めました。こうした背景も踏まえて慎重に判断をした結果、老朽化に伴う建て替えではなく、約2年の工期をかけての大規模修繕に着手致しました。工事中である現在は、本部機能および従業員は東京・中央区晴海にあるホテルマリナーズコート東京に仮移転しており、2024年12月を目途に東京・六本木の本部会館へ戻る予定となっております。

また、船員職業を志す学生を支援する奨学金制度の着実な運営に、引き続き全国の船員養成機関と連携し取り組んでまいります。申し込み・お問い合わせの際はお気軽に奨学金制度運営管理部までご連絡をください。

最後に、洋上で日々昼夜問わず職務に当たられている皆さまのご健勝とご安航・大漁を祈念して、新年のご挨拶と致します。

「海員だより」